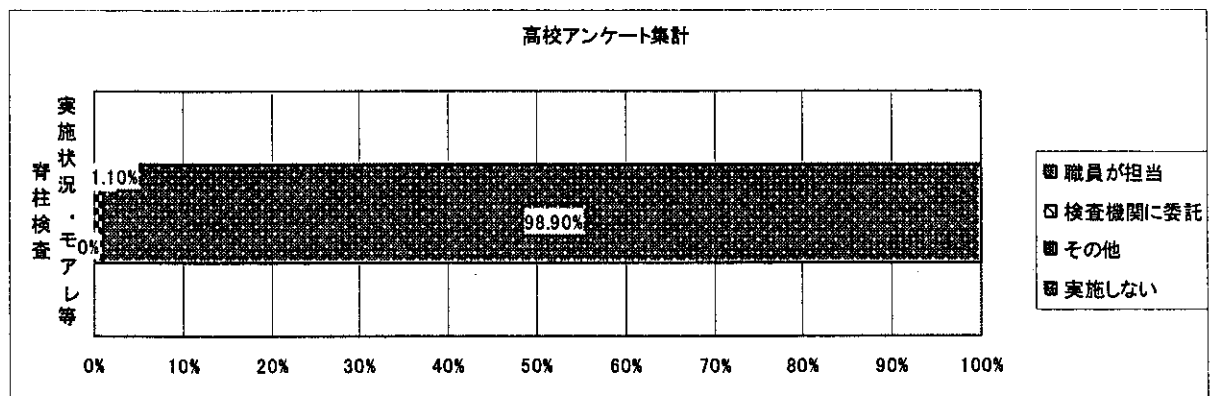
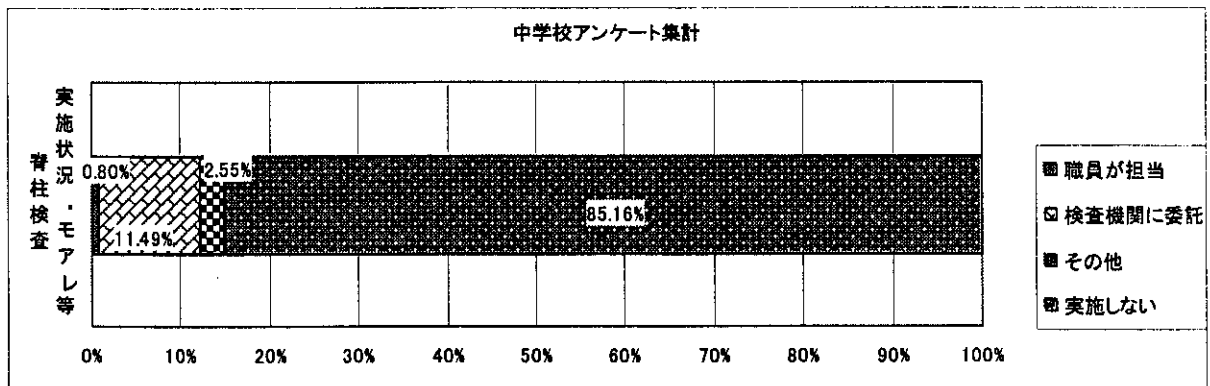
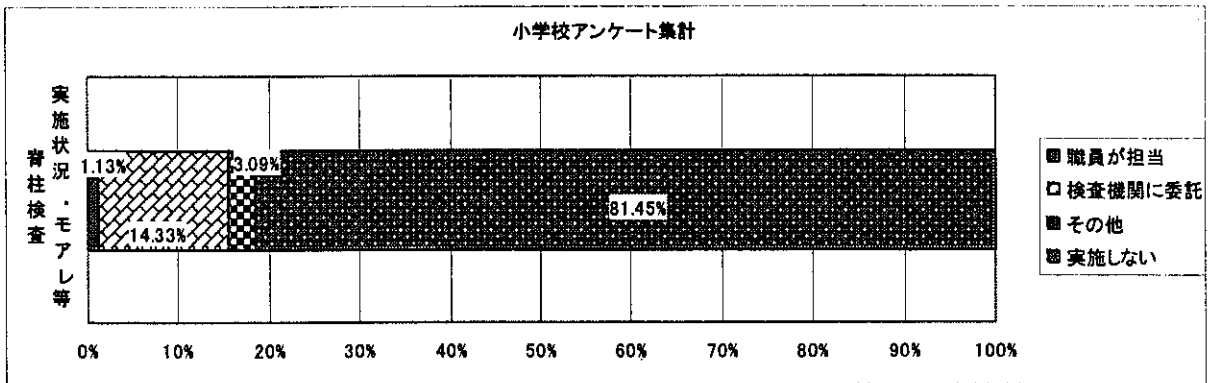
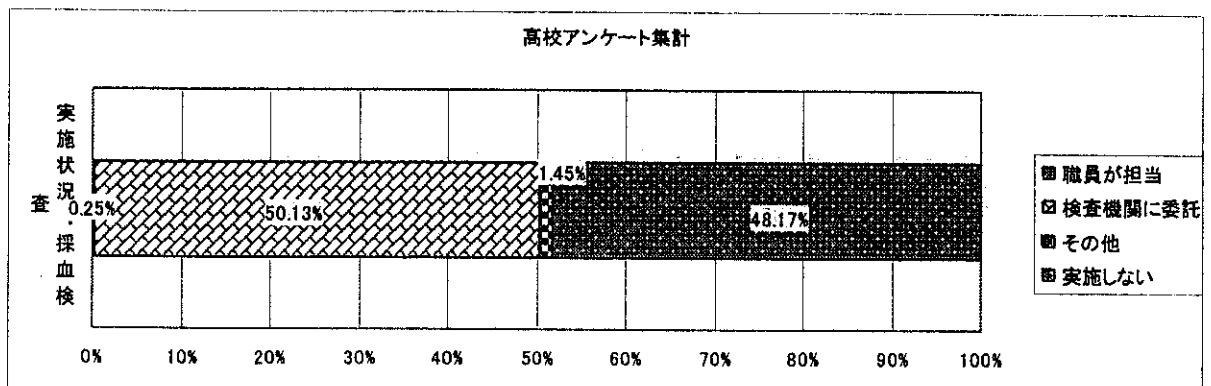
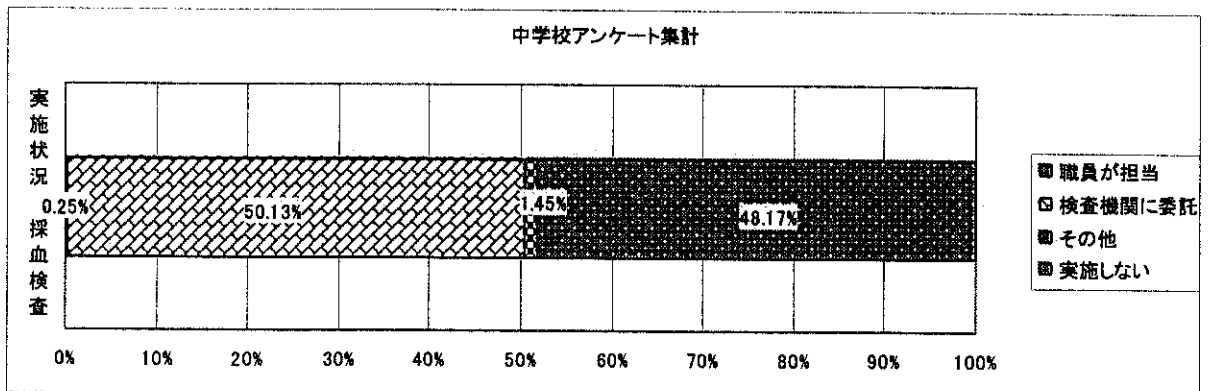
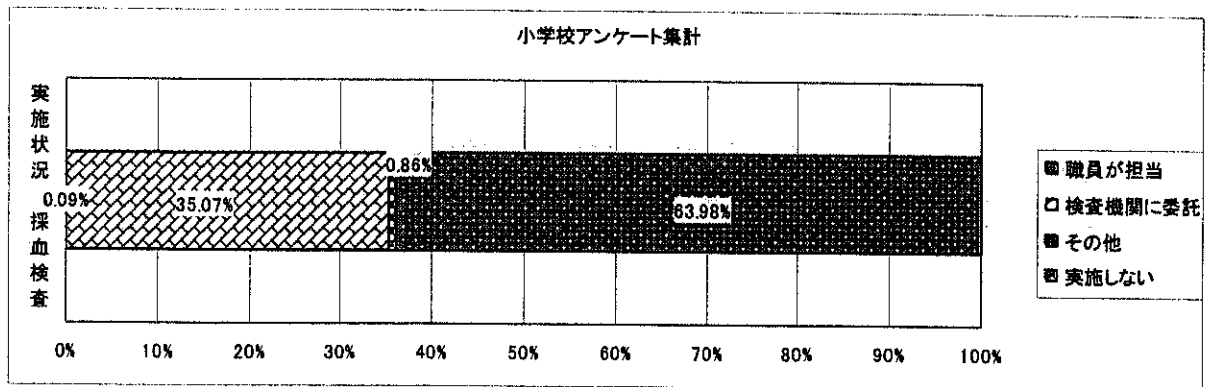


	実施 が担当して 自校の職員 実施	委託して実 施	検査機 関に 委託して実 施	その他	検査は実 施 しない
工) モアレ等脊柱検査	1	2	3 ()		4



モアレ等脊柱検査に関しては、小中高等学校を通じ「実施しない」がほとんどであったが、小中学校においては実施している場合のほとんどは「検査機関に委託して実施」であった。

	実施 が担 当し て	自 校 の 職 員 が 担 当 し て	施 委 託 し て 実 施	検 査 機 関 に 委 託 し て 実 施	そ の 他	検 査 は 実 施 し な い
才) 採血検査	1	2	3	()	4	

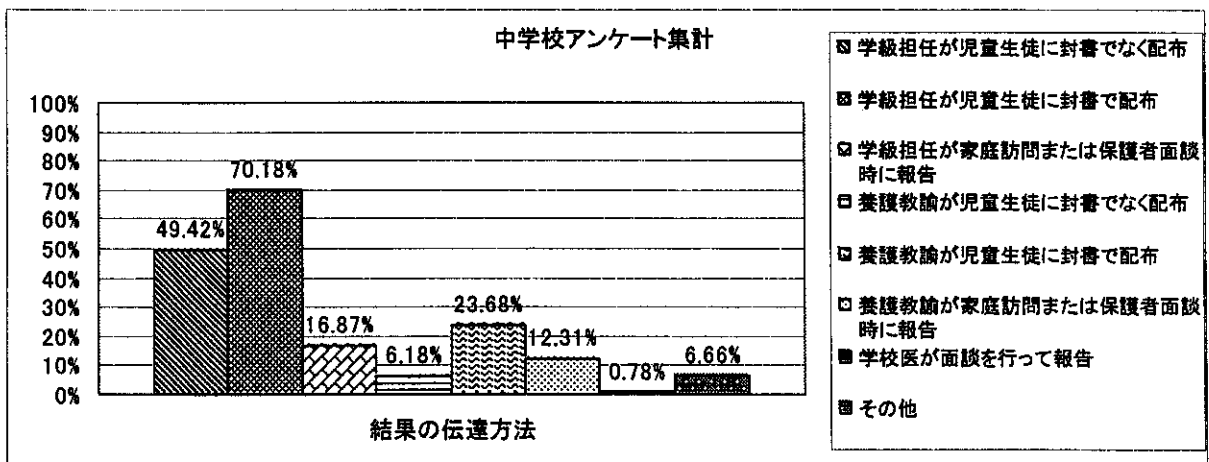
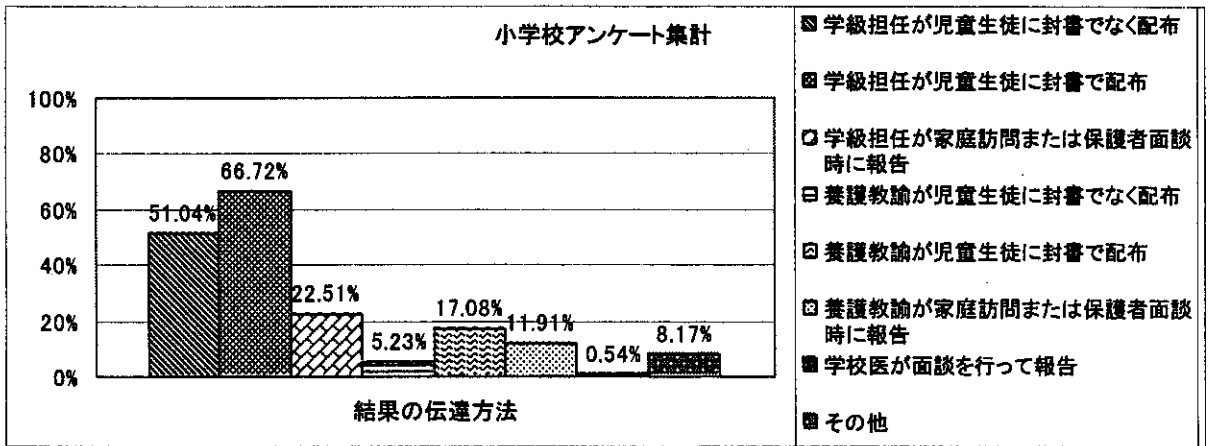


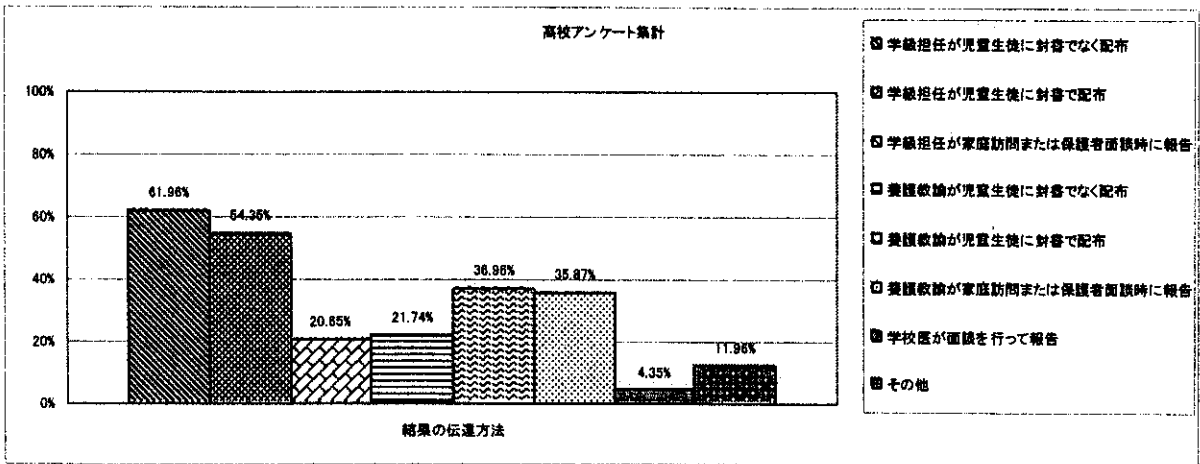
採血検査に関しては、小学校の 35%、中学校の 50%、高等学校の 50%において実施されており、いずれも「検査機関に委託して実施」がほとんどであった。

<事後指導についてお聞きします>

問7 貴校では、疾病や異常の疑いがある場合には、どのようにして保護者、児童に伝えていきますか。(〇はいくつでも)

- 1 学級担任が児童生徒に結果を封書でなく配布
- 2 学級担任が児童生徒に結果を封書で配布
- 3 学級担任が家庭訪問の際、もしくは、保護者面談の際に結果を報告
- 4 養護教諭が児童生徒に結果を封書でなく配布
- 5 養護教諭が児童生徒に結果を封書で配布
- 6 養護教諭が、保護者又は児童生徒に面談を行って結果を報告
- 7 学校医が、保護者又は児童生徒に面談を行って結果を報告
- 8 その他 ()

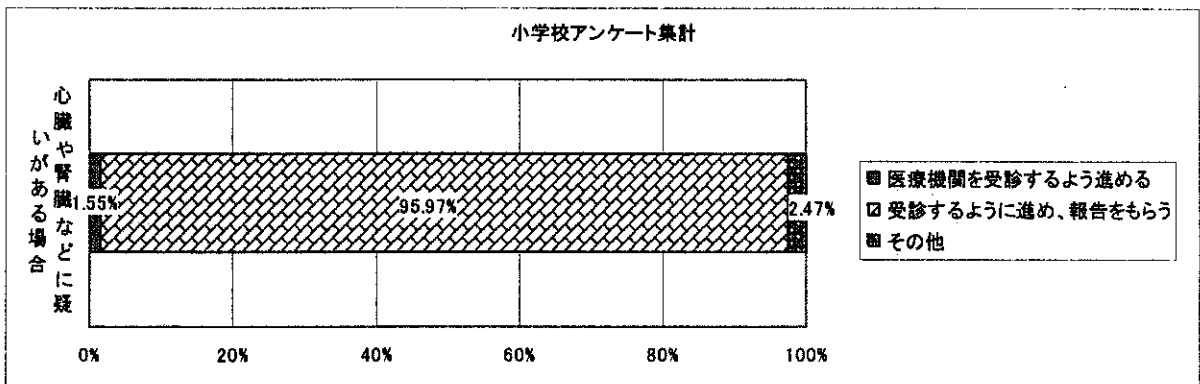


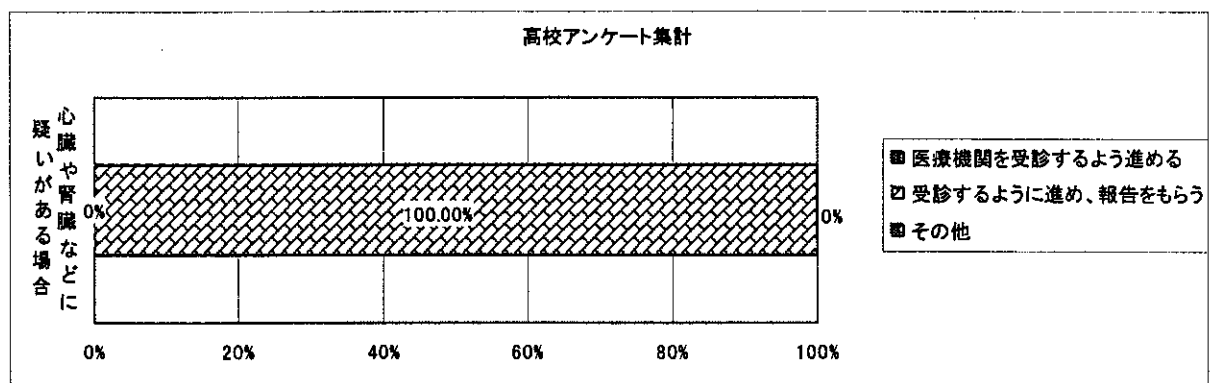
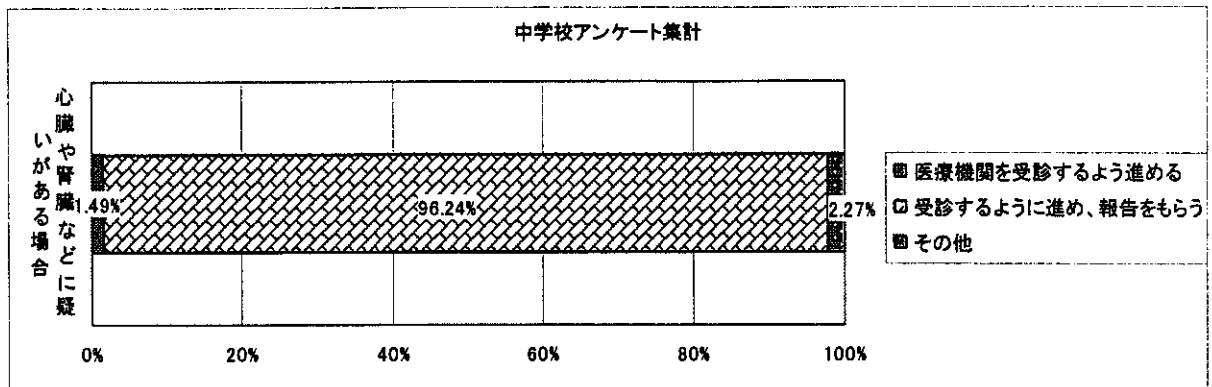


健康診断にて疾病や異常が疑われた場合、保護者、児童に伝える方法としては、「学級担任が児童生徒に結果を封書でなく配布」と「学級担任が児童生徒に結果を封書で配布」が高い割合を示し、小中学校においては後者の方が高い割合を示し最高であった。高等学校では前者が最も高い割合を示し、これらに次いで「養護教諭が児童生徒に結果を封書で配布」と「養護教諭が、保護者又は児童生徒に面談を行って結果を報告」が高い割合を示した。

問 8 貴校では、心臓や腎臓などの疾病や異常の疑いがある場合には、どのように対応していますか。（管理指導表による管理が行われているものは除く。）（○はひとつ）

- 1 医療機関を受診するよう進めるが、その後は何もしていない。
- 2 医療機関を受診するよう進め、受診後、児童生徒から報告をもらうこととしている。
- 3 その他（ ）



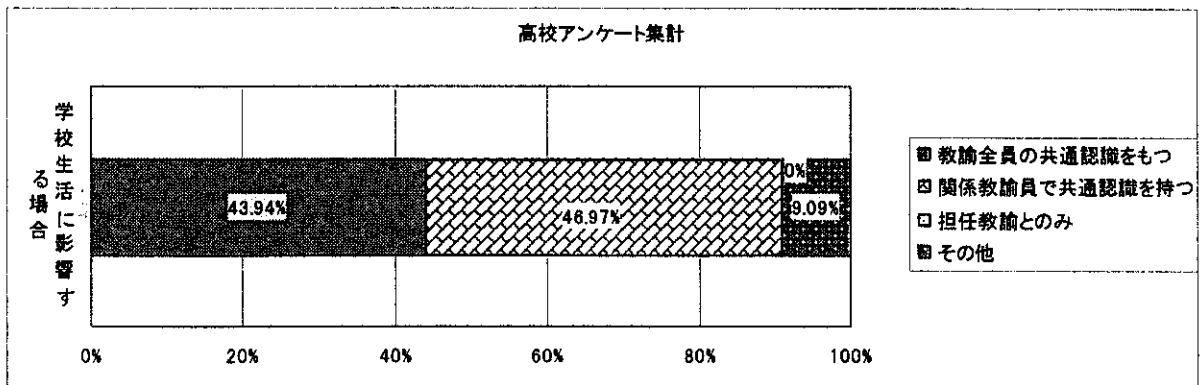
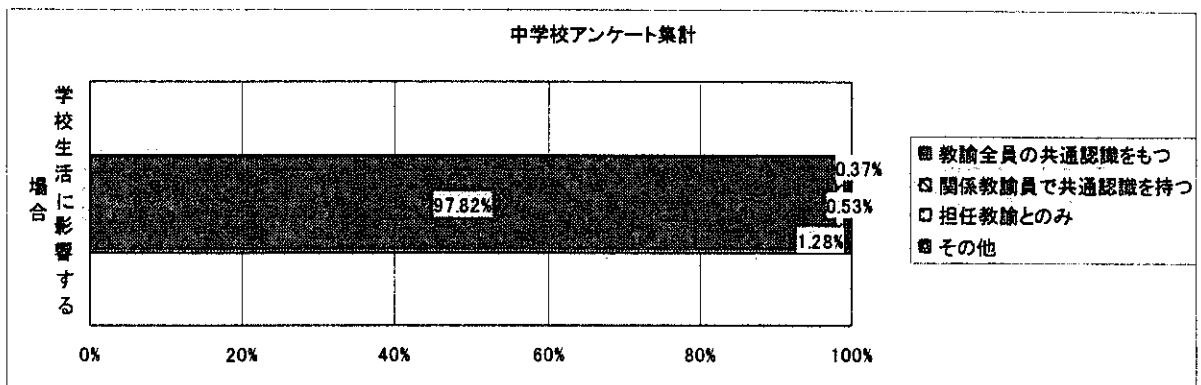
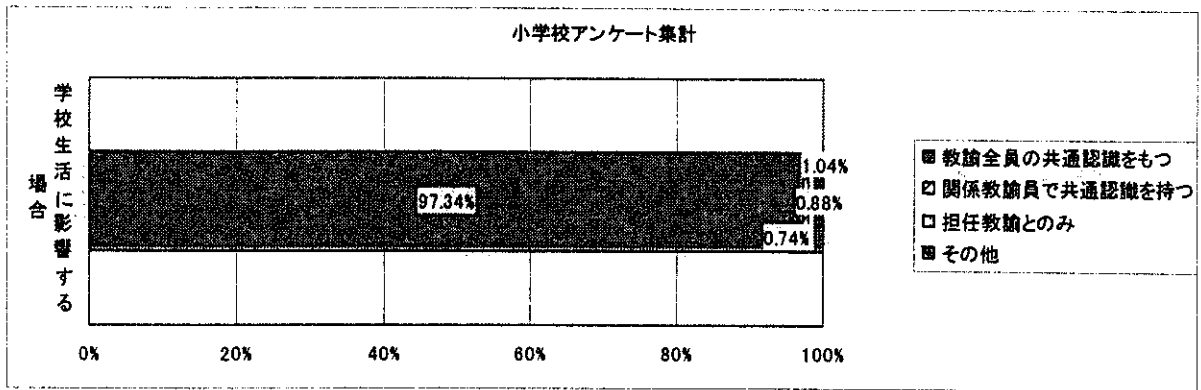


心臓や腎臓などの疾病や異常の疑いがある場合には、小中高等学校を通じほとんどの学校において「医療機関を受診するよう進め、受診後、児童生徒から報告をもらうこととしている」という方針をとっていた。受診勧告のみで結果報告まで確認していない場合は非常に少なかった。

問9 学校生活に影響する可能性のある疾病や異常の場合には、どのように対応していますか。

(○はひとつ)

- 1 職員会議等を利用して、教職員全員の共通認識を持つようにしている。
- 2 体育担当教員等の関係する教職員で共通認識を持つようにしている。
- 3 担任教諭とのみ共通認識を持つようにしている。
- 4 その他 ()

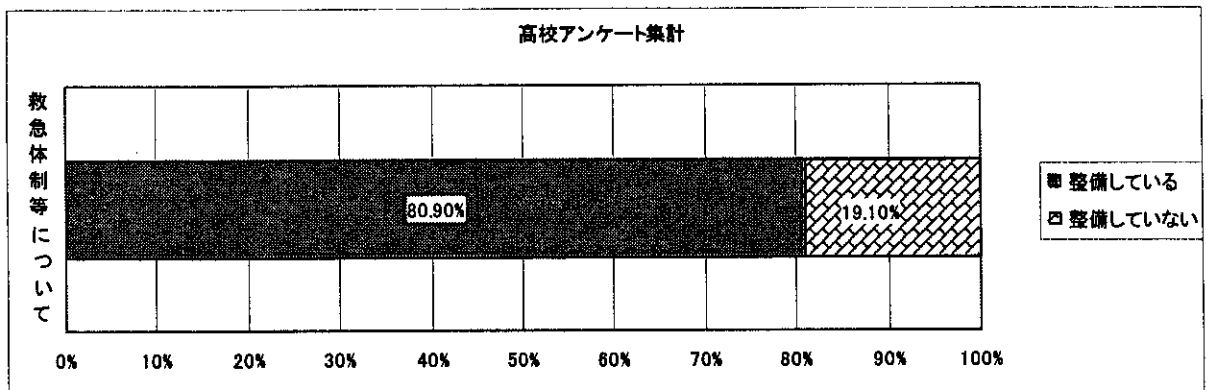
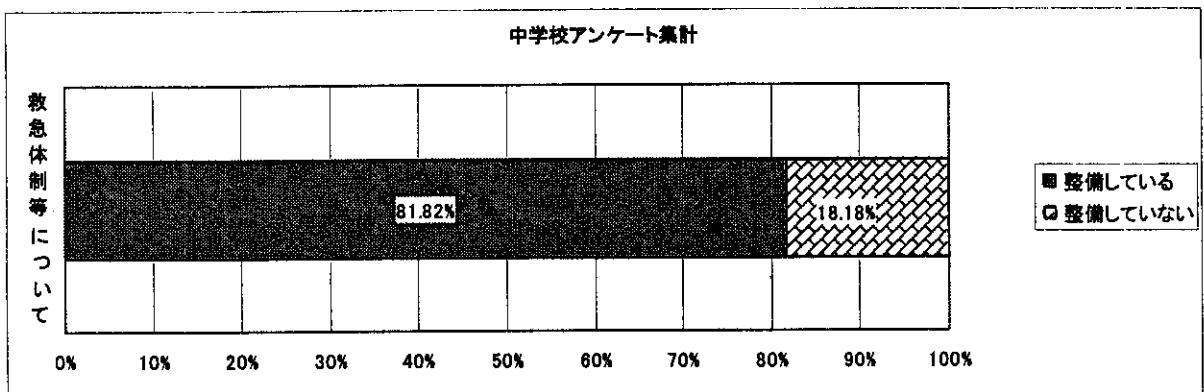
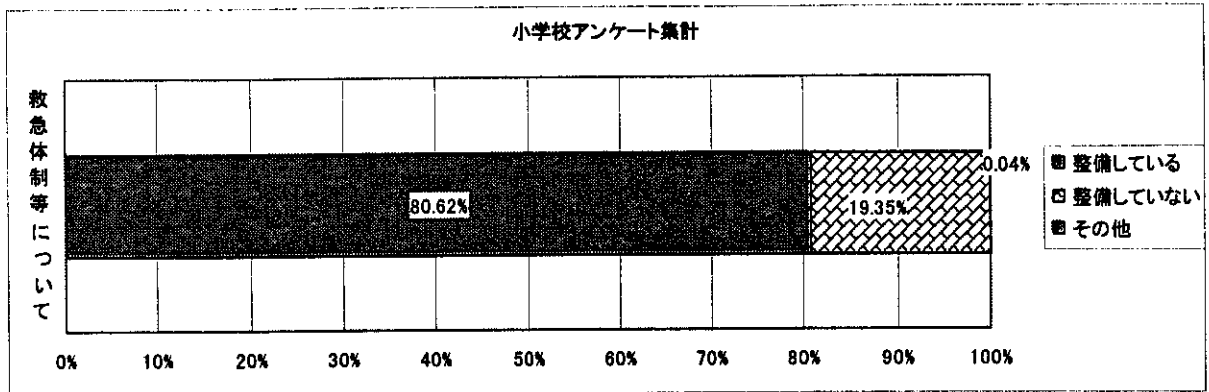


学校生活に影響する可能性のある疾病や異常が児童生徒に見つかった場合には、小中学校においてはほとんどの場合「教職員全員の共通認識を持つようにしている」という回答であった。高等学校においては回答傾向が異なり、「教職員全員の共通認識を持つようにしている」が44%、「関係する教職員で共通認識を持つようにしている」が47%であった。

問10 貴校では、学校生活に影響する可能性のある疾病や異常を持つ児童生徒の救急体制等について整備していますか。 (○はひとつ)

1 整備している

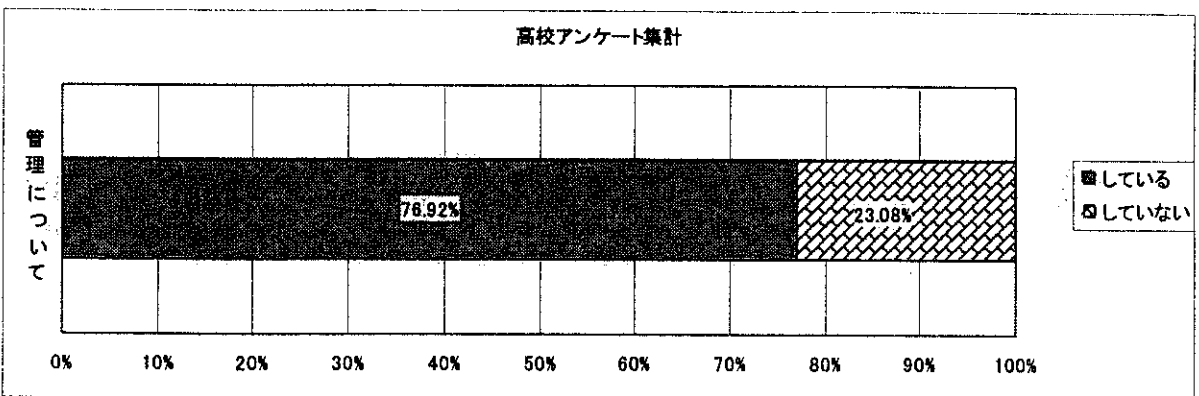
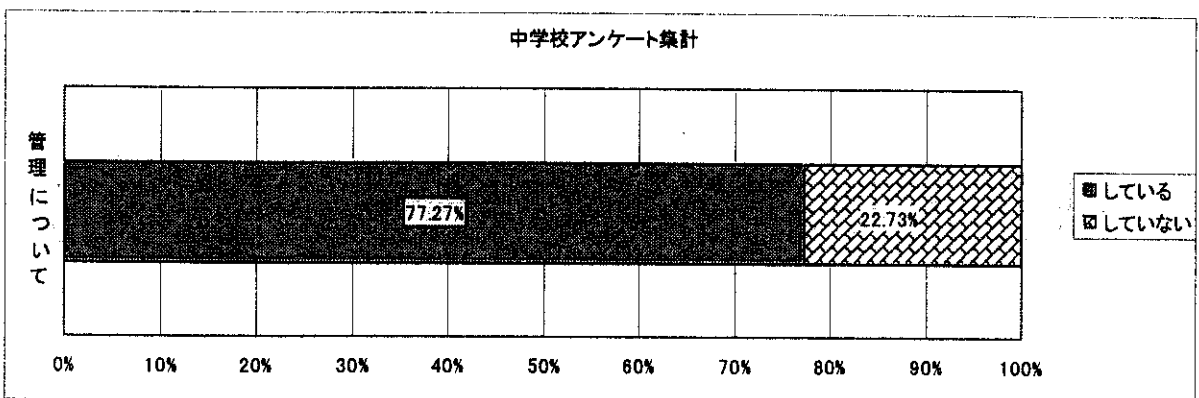
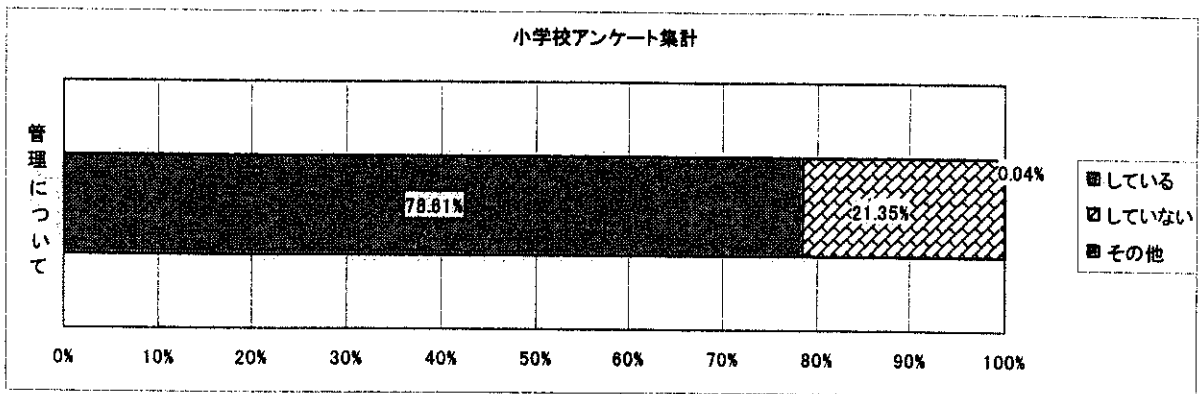
2 整備していない



学校生活に影響する可能性のある疾病や異常をもつ児童生徒の救急体制等については、「整備している」と回答した学校は小中高等学校を通じ約 80%強であったが、逆に 20%弱の学校では「整備していない」という回答であった。

問 1 1 貴校では、学校医に学校生活に影響する可能性のある疾病や異常を持つ児童生徒の管理について、報告や相談を行っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 報告や相談をしている | 2 報告や相談をしていない |
|--------------|---------------|

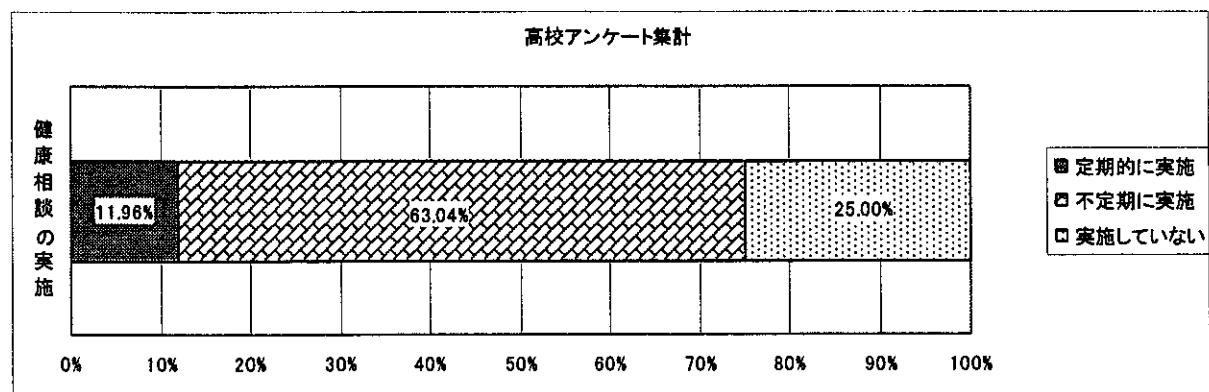
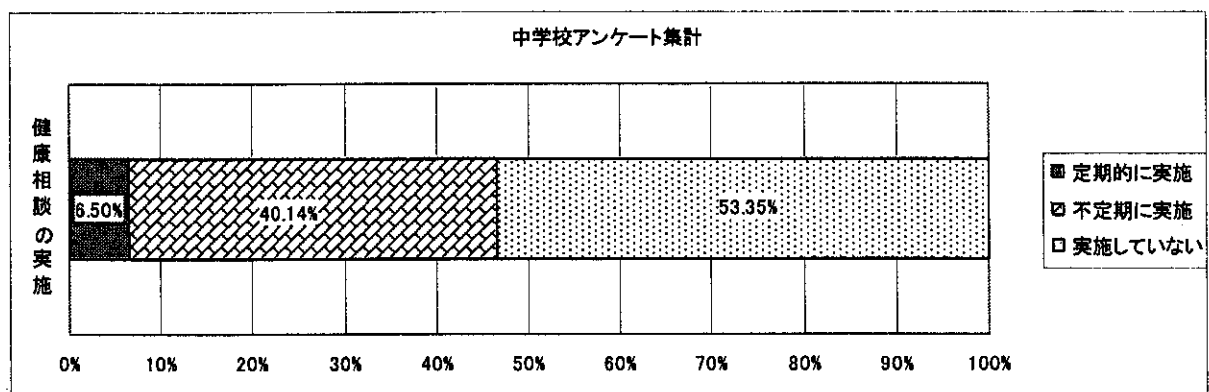
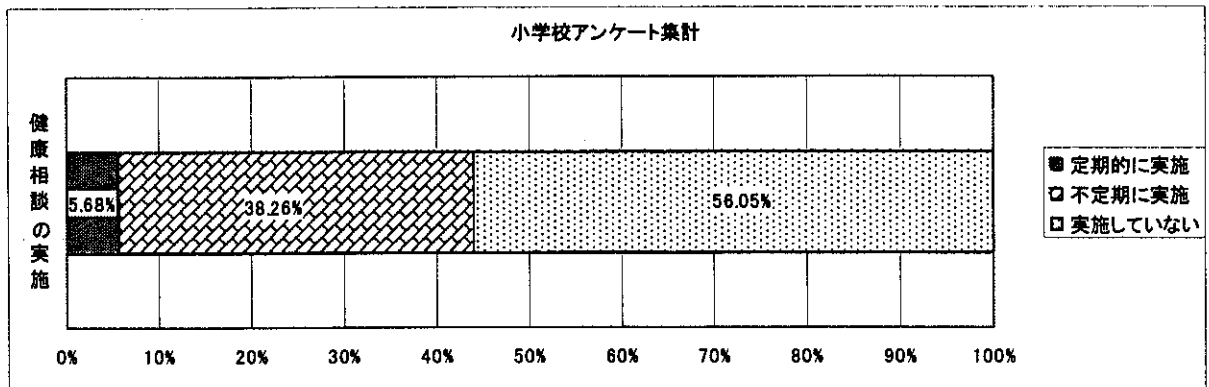
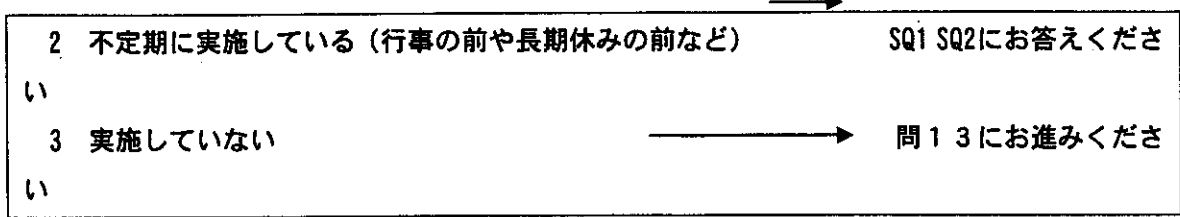


学校生活に影響する可能性のある疾病や異常が児童生徒の管理について、報告や相談を行っているかについては、小中高等学校を通じ、約77%の学校においては実施しており、約23%の学校では実施していなかった。

<健康相談についてお聞きします>

問12 貴校では、健康相談を実施していますか。

1 定期的実施している さい	—————▶	SQ1 SQ2にお答えください
-------------------	--------	-----------------

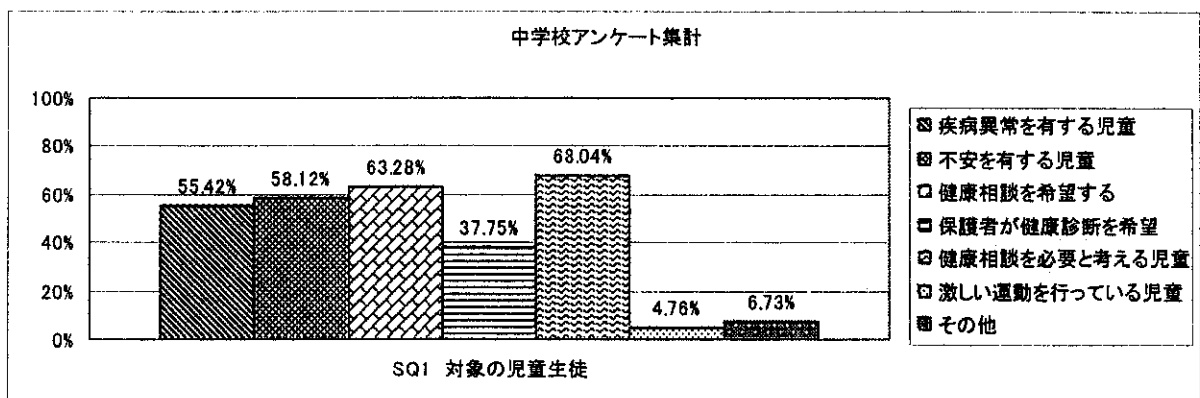
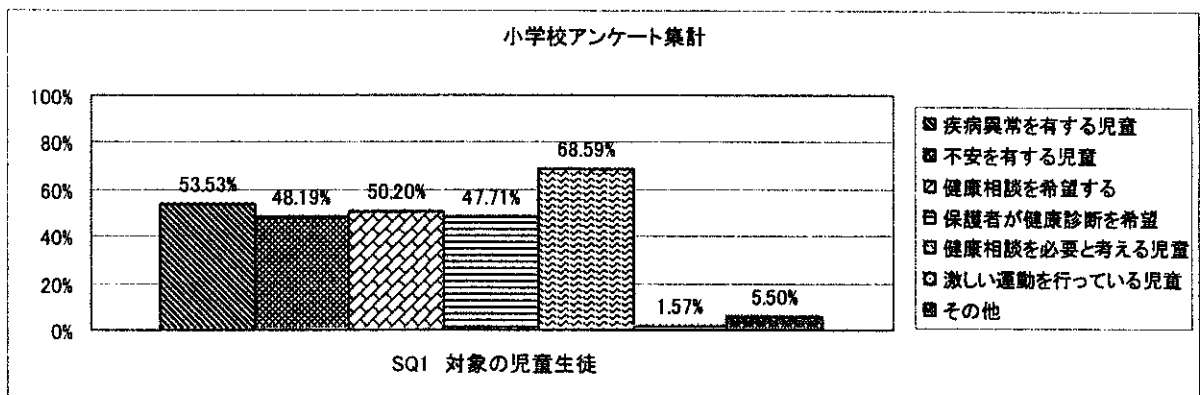


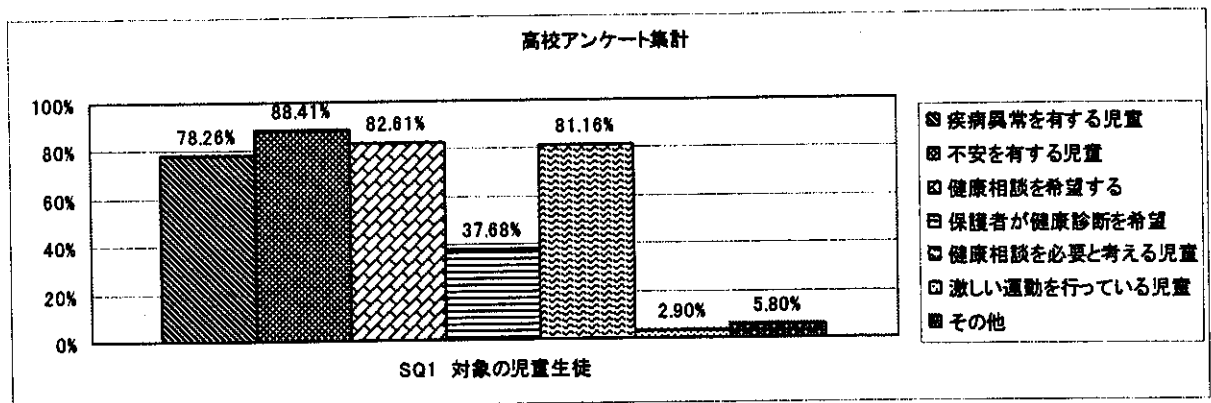
健康相談は小学校の44%、中学校の47%、高等学校の75%で実施されており、その場合「不定期に実施」していることがほとんどであった。定期的に健康相談を実施しているのは、小学校の6%、中学校の7%、高等学校の12%であった。

[この設問は、問12で「1 定期的を実施している」「2 不定期に実施している」と回答された方にお聞きします]

SQ1 健康相談の対象は、どのような児童生徒ですか。(○はいくつでも)

- 1 疾病・異常を有する児童生徒
- 2 健康について不安を有する児童生徒
- 3 健康相談を希望する児童生徒
- 4 保護者が健康診断を希望する児童生徒
- 5 学級担任もしくは養護教諭が、健康相談を必要と考える児童生徒
- 6 激しい運動を長期に行っている児童生徒
- 7 その他 ()



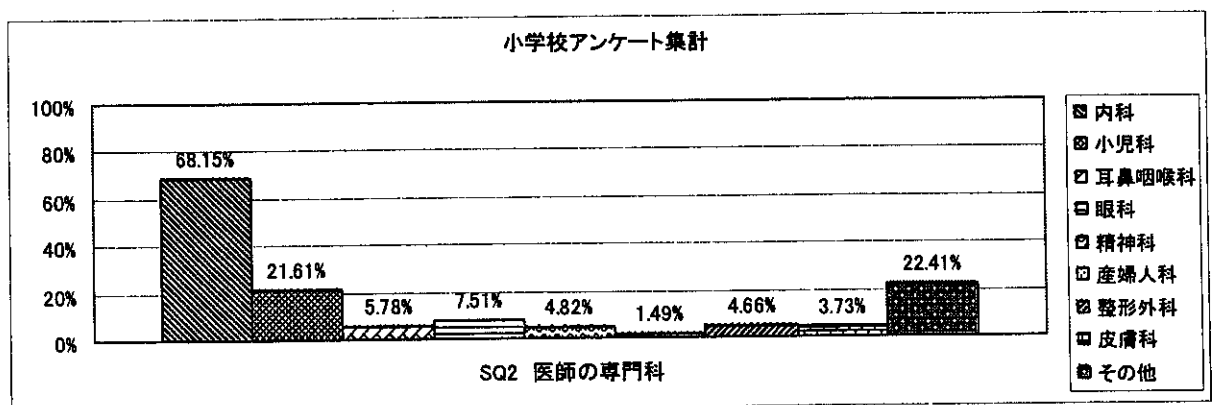


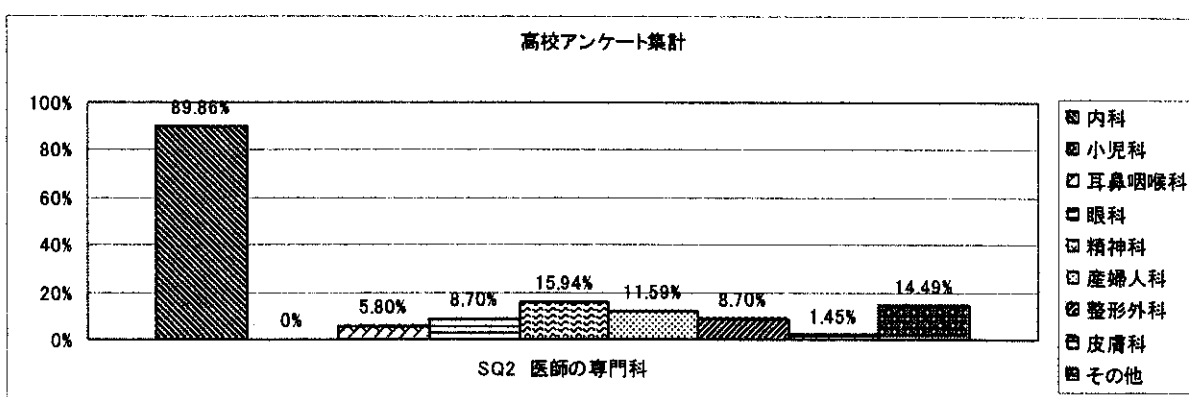
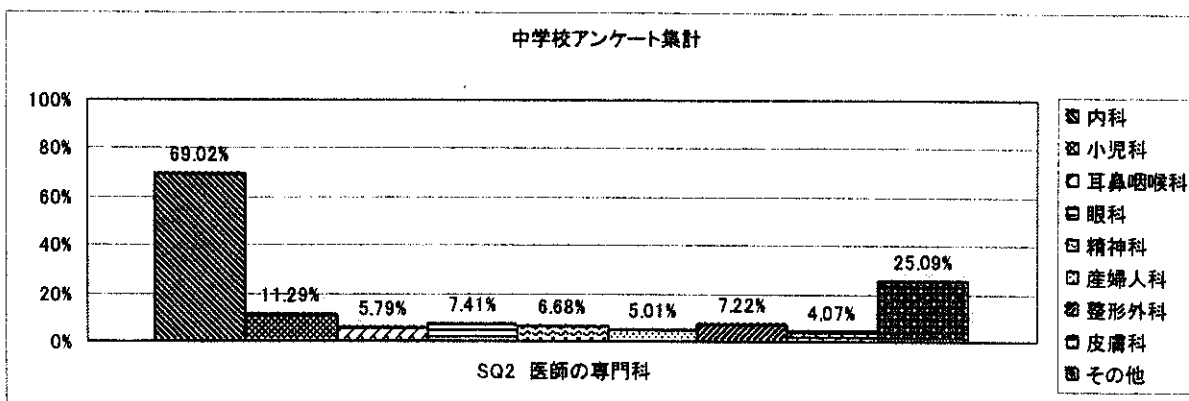
健康相談を実施している場合の対象は、小中学校においては「学級担任もしくは養護教諭が、健康相談を必要と考える児童生徒」の割合が最も高く、大差はないものの「疾病・異常を有する児童生徒」、「健康について不安を有する児童生徒」、「健康相談を希望する児童生徒」が続いていた。「保護者が健康診断を希望する児童生徒」という回答は中高等学校では相対的に低い傾向がみられた。

SQ2 健康相談を実施する医師の専門科はどれですか。（学校医が行う健康相談以外のものも含む。）（〇はいくつでも）

1 内科	4 眼科	7 整形外科
2 小児科	5 精神科	8 皮膚科
3 耳鼻咽喉科	6 産婦人科	9 その他（ ）

→問13にお進みください



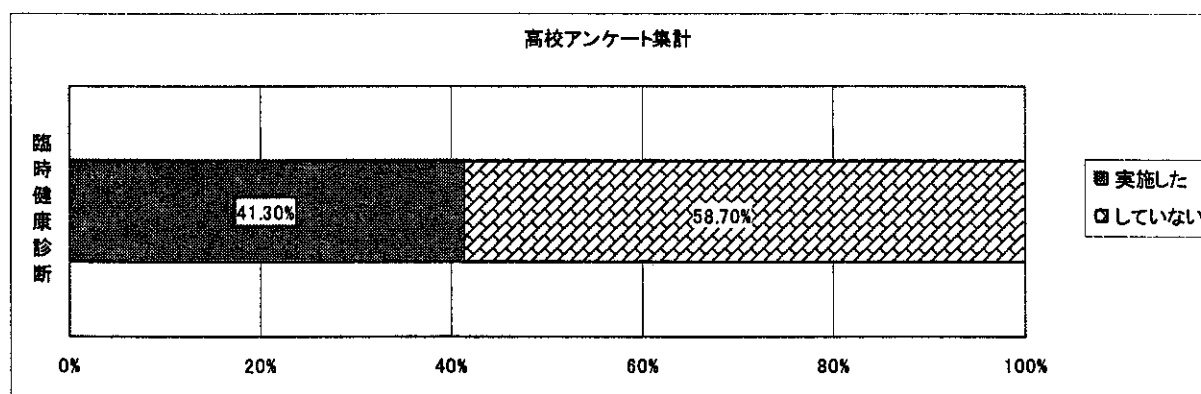
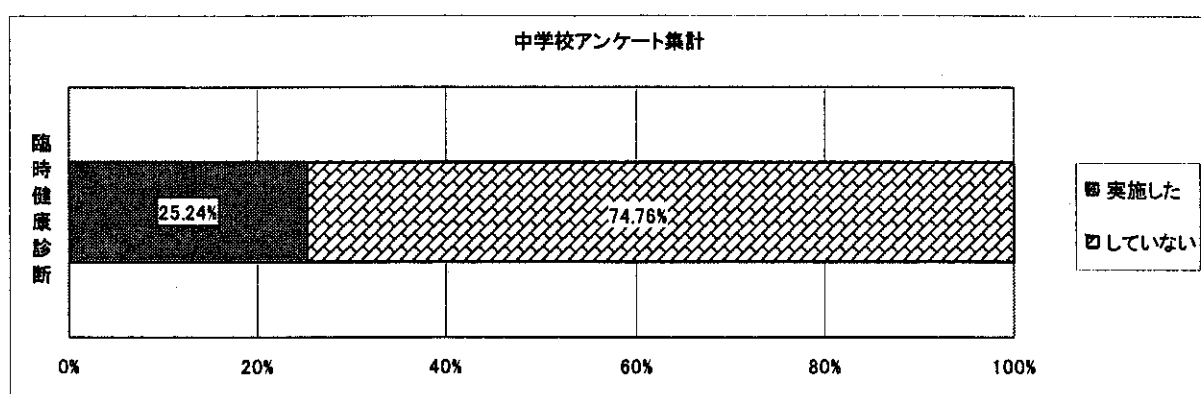
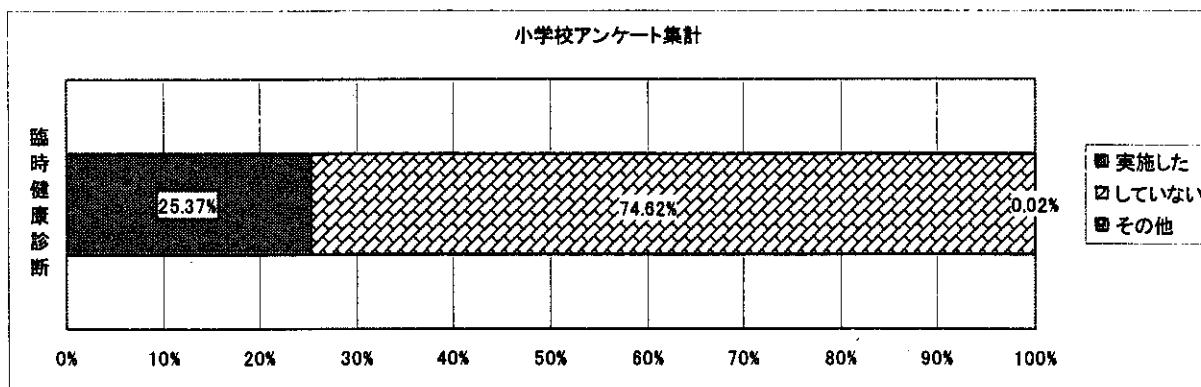


健康相談を実施する医師の診療科の専門については、「内科」が最も高い割合であり、小中学校では「小児科」がそれに次いでいた。高等学校では第2位が「精神科」(16%)、第3位が「産婦人科」(12%)であった。

<臨時健康診断についてお聞きします>

問13 貴校では、昨年度(平成13年度)、臨時健康診断を実施しましたか。

1 実施した さい	→	SQ1 SQ2にお答えください
2 実施していない さい	→	問14にお進みください

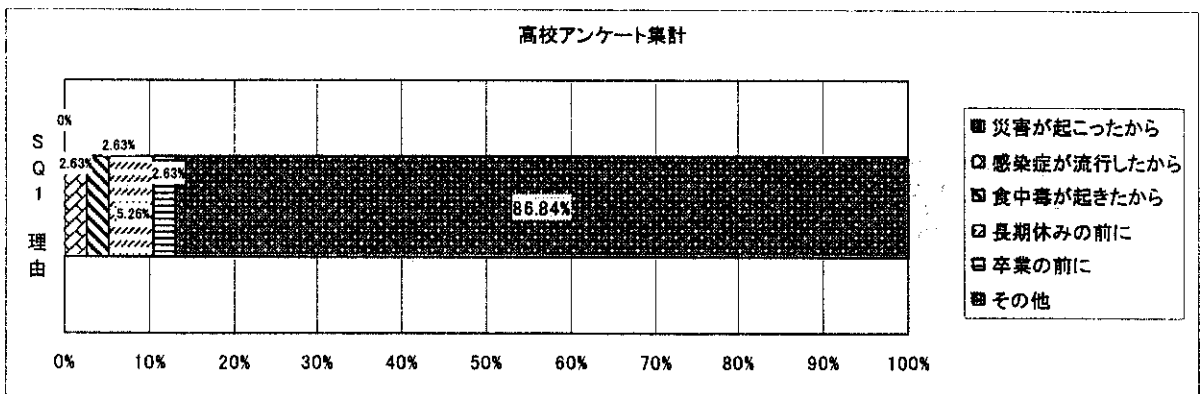
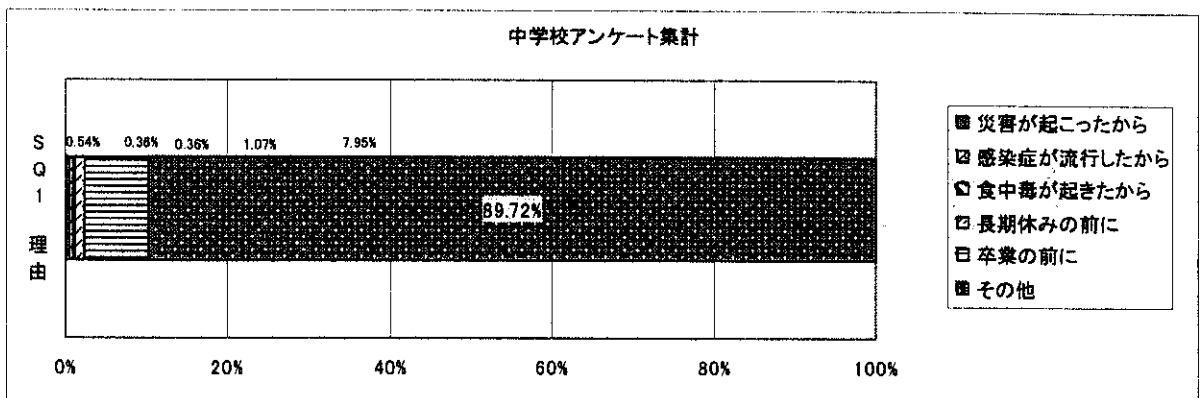
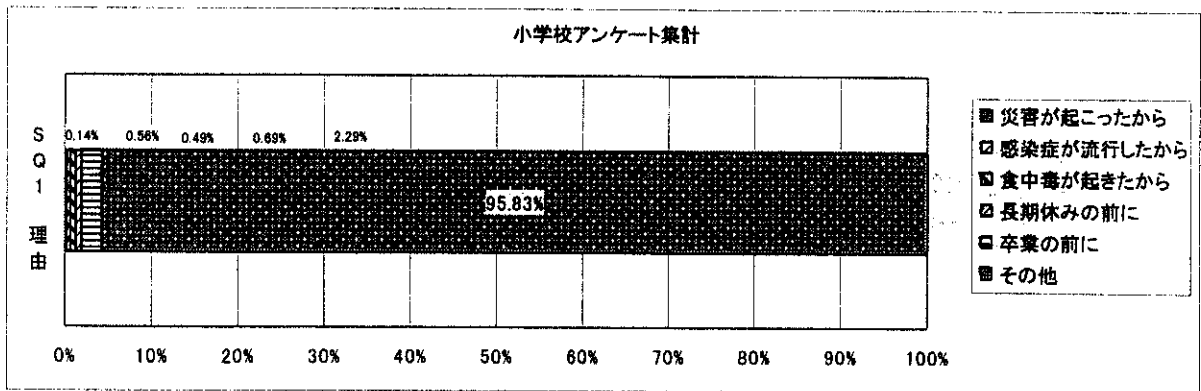


臨時健康診断を実施した学校の割合は小中学校で約 25%、高等学校で 41%であった。

[この設問は、問 13 で「1 実施した」と回答された方にお聞きします]

SQ1 臨時健康診断を実施した理由何ですか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 災害が起こったから | 4 長期休みの前に |
| 2 感染症が流行したから | 5 卒業の前に |
| 3 食中毒が起きたから | 6 その他 () |



臨時健康診断の実施理由としては「その他」が最多であるが、それ以外では小中学校では「卒業の前に」、高等学校では「長期の休みの前に」が多い傾向が認められた。

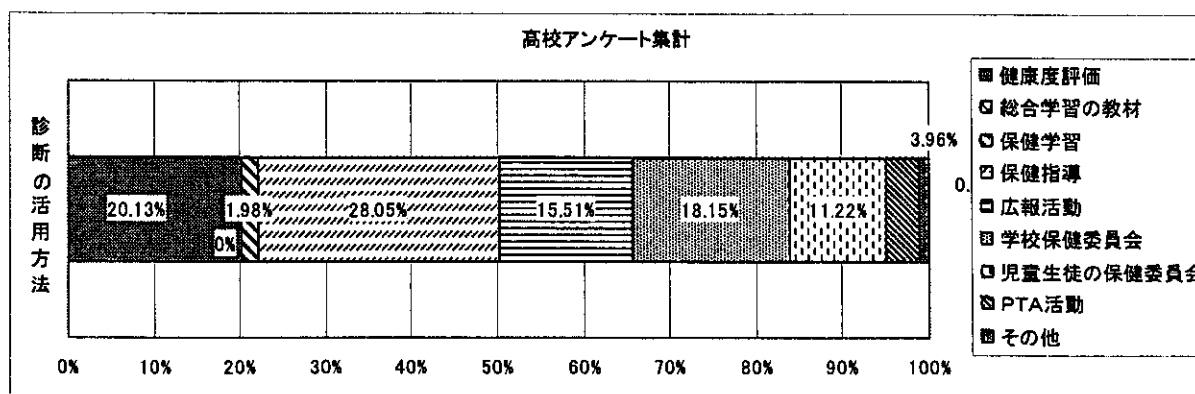
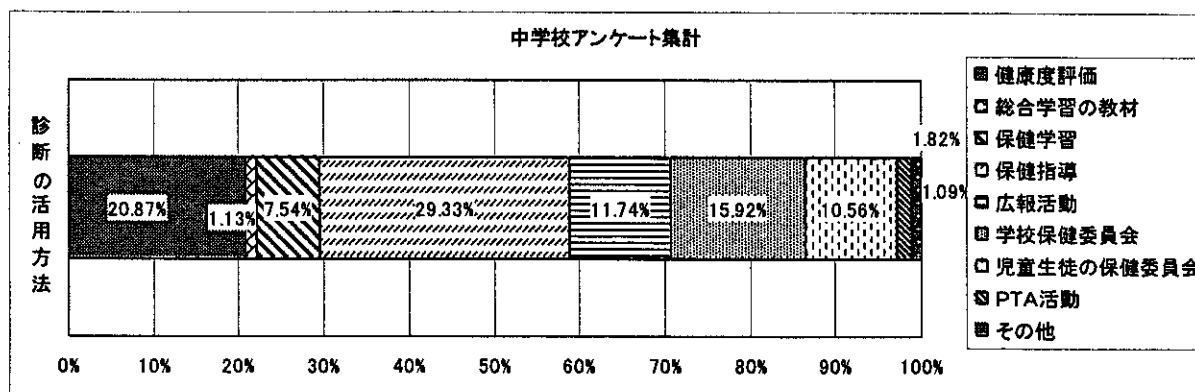
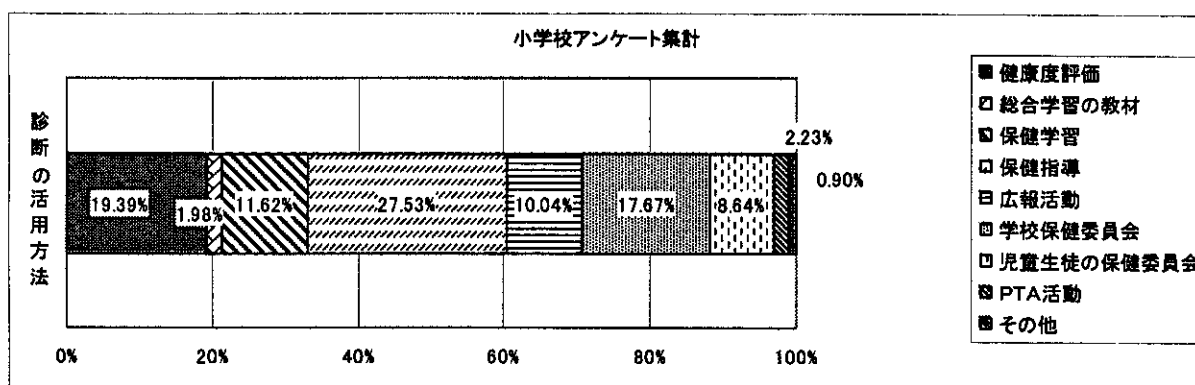
SQ2 臨時健康診断の項目はどのようなものですか。具体的にご記入ください。

→問14にお進みください

<健康診断結果の活用についてお聞きします>

問14 貴校では、健康診断結果は、どのように活用していますか (〇はいくつでも)

1 児童生徒の健康度評価	4 保健指導	7 児童生徒の保健委員会
2 総合学習の教材	5 広報活動	8 PTA活動
3 保健学習	6 学校保健委員会	9 その他 ()



健康診断結果の活用については、小中学校においては「保健指導」、「健康度評価」、「学校保健委員会」、「保健学習」、「広報活動」の順に多くあげられていた。高等学校においては「保健指導」、「健康度評価」、「学校保健委員会」、「広報活動」、「児童生徒の保健委員会」の順に多くあげられていた。

〔資料2〕 児童生徒の健康診断に関する実態調査

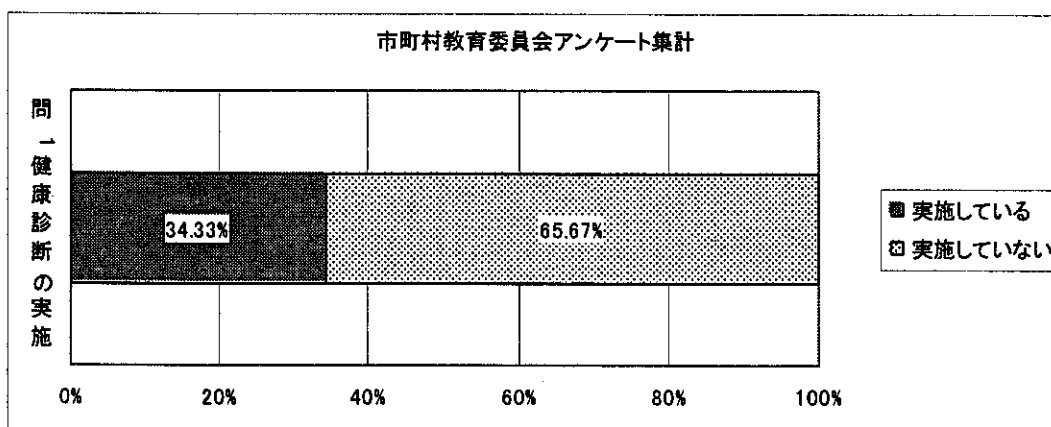
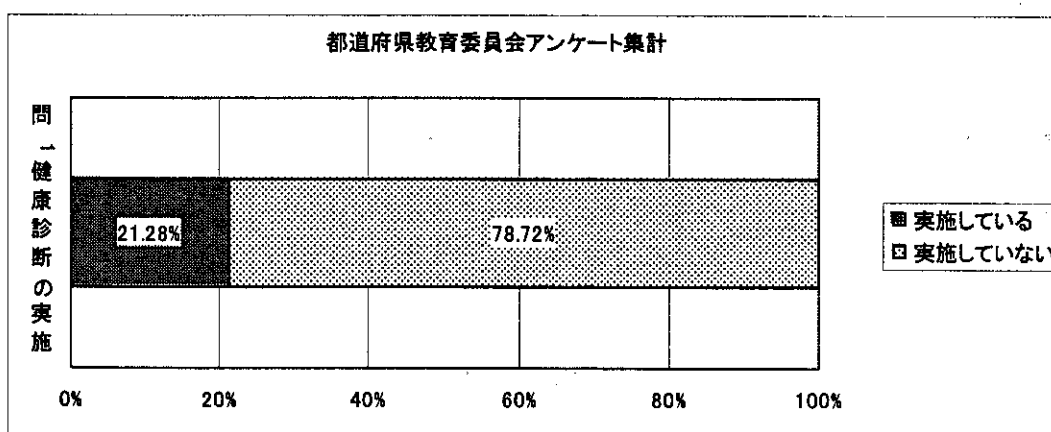
＜児童生徒の健康診断の計画についてお聞きします＞

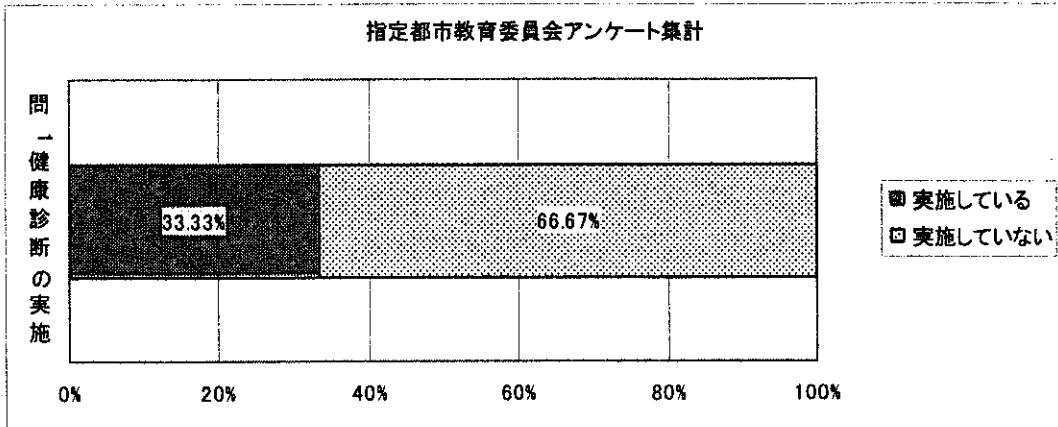
問1 貴委員会では、管下の学校について、学校保健法に定める以外の項目について健康診断を実施していますか。（学校独自に実施している場合を除く。）

（○はひとつ）

つ）

1 実施している	→	SQ1、SQ2にお答えください
2 実施していない	→	2頁問2にお進みください

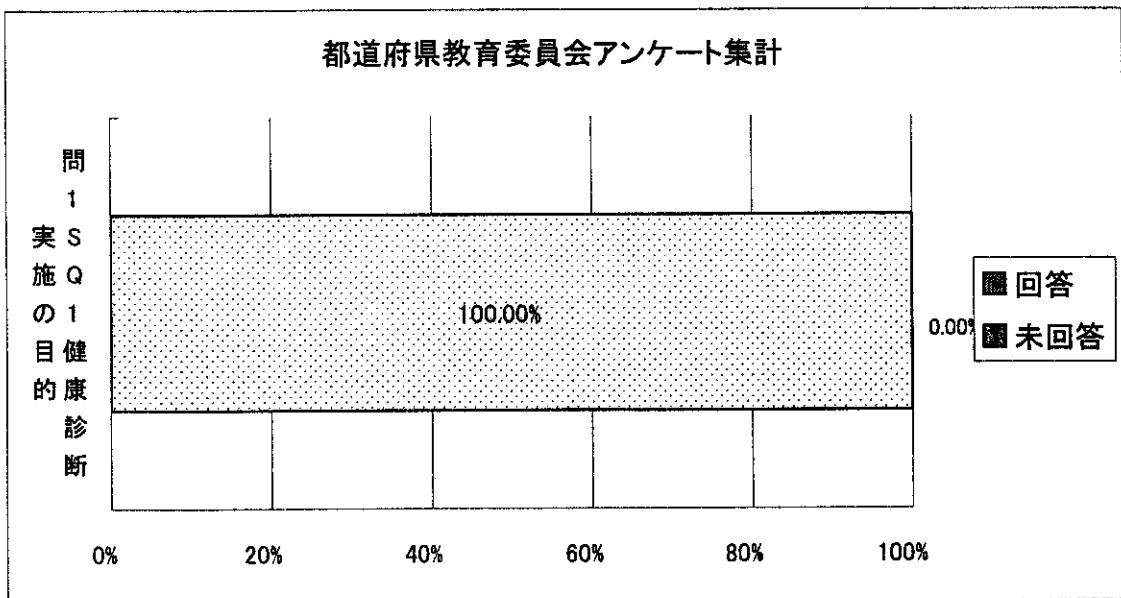


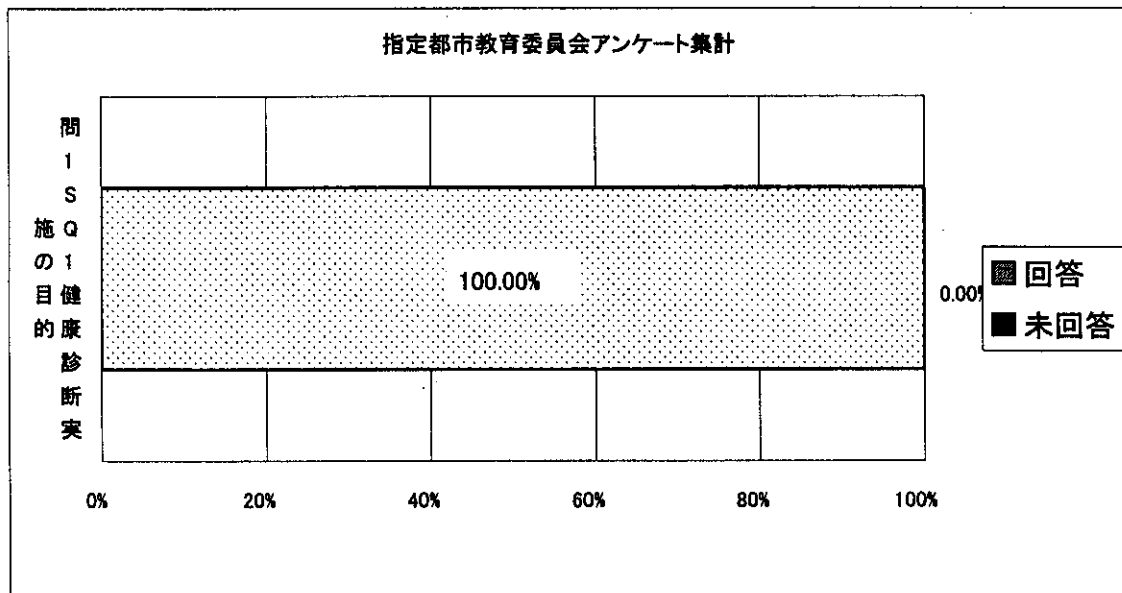
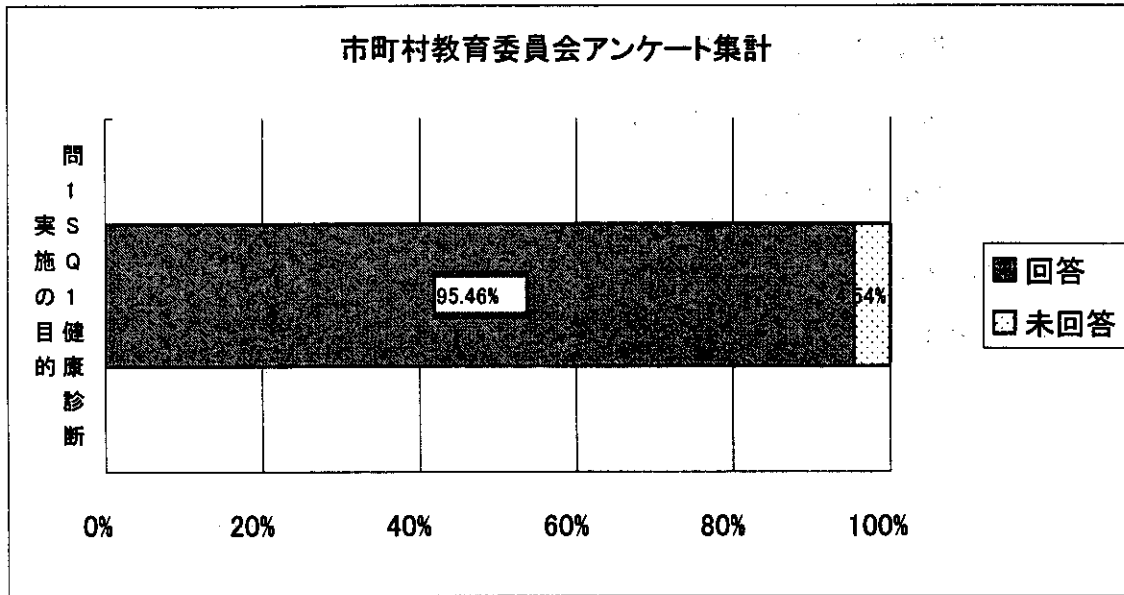


管内の学校にて学校保健法に定める以外の項目について健康診断を実施しているのは、都道府県教育委員会で21%、指定都市教育委員会で33%、市町村教育委員会で34%であった。

【この設問は問1で、「1 実施している」と回答された方にお聞きします】

SQ1 学校保健法に定める以外の項目について健康診断を実施している目的を具体的に
記入ください。





学校保健法に定める以外の項目について健康診断を実施している目的についての記載は、実施している教育委員会のうち、都道府県教育委員会、指定都市教育委員会の全てと市町村教育委員会の95%においてなされていた。

SQ2 どのような内容の健康診断をしていますか。(〇はいくつでも)

- 1 採血検査（総コレステロール）
- 2 採血検査（HDLコレステロール）
- 3 採血検査（貧血検査）
- 4 血圧検査
- 5 糞便検査
- 6 骨密度測定
- 7 その他（ ）

→次頁問2にお進みください

